

令和4年度 島根県立浜田ろう学校 学校運営協議会だより

伝えよう つながろう 夢に向かって

NO.1 (2022.9.9)

令和4年度 浜田ろう学校 学校運営協議会委員のご紹介 (9名)

- 会長：福島 朗 博 様 (やすぎ保育園園長 ※前松江ろう学校長)
副会長：佐々岡 由香里 様 (浜田ろう学校PTA役員)
委員：板垣 敏 郎 様 (山陰中央新報社 西部本社報道部本部長)
委員：金井 和 義 様 (島根県ろうあ連盟)
委員：小林 信 様 (浜田市立三階小学校長 ※難聴学級設置校長)
委員：府川 要 之 様 (セブンイレブン浜田国分店長)
委員：馬場 美 帆 様 (浜田ろう学校 学校地域協働推進員)
委員：宮木 竜 一 様 (唐鐘自治会長)
委員：山口 康 弘 様 (浜田市教育委員会学校教育課長)

第1回学校運営協議会 (7月12日)

7月12日(火)、8名の委員様(1名欠席)、8名の教職員が参加し、第1回学校運営協議会を開催しました。2名の手話通訳の皆様にもお手伝いをいただきました。

□授業参観

『浜田ろう学校を知ってください!』

これを今回の学校運営協議会の目的の一つとしました。まずは授業参観。幼小部は「図書の日」の一環として地域の方の読み語りを、中高部は国語・英語(ALT)・技術・自立活動等の様子を見ていただきました。

□学校経営方針等の説明と承認

学校運営方針及びグランドデザイン等を説明し、承認をいただきました。質疑では、「手話言語条例が広がっている今、手話を大切にする学校になってほしい。」「マンツーマンの授業なので学びが充実している。一般の学校と変わらないことがわかった。」などの意見や感想が寄せられました。

□学校運営に対する意見・情報交換

「唐鐘自治会では、浜田ろう学校体育館を活用して火災・津波を想定した避難訓練を行っている。浜田ろう学校を会場にした行事を実施し、一緒に関わる機会をつくれれば、地域と連携・協働した取組や理解・啓発に繋がるのではないか。」「手話学習会の企画等、浜田ろう学校の価値を高める戦略を立てると良いのではないか。」「浜田ろう学校に入学したら“〇〇の力を付けますよ」と言い切るぐらいのアピールをしたらどうか。」等、たくさんの意見をいただきました。

□福島朗博会長のまとめ

『「専門性がある学校」「インクルーシブ教育の観点から子どもたちを支援する学校」「難聴学級の子どもたちや教員を支援する学校」を目指すことで、地域から信頼される学校となることが大切であり、そのための戦略を考えていきましょう。』と、福島会長からまとめていただきました。